

ESDを通して

社会に開かれた学校づくりへ



八戸工業大学第二高等学校・ 附属中学校



ユネスコスクール・キャンディデート校として 青森県の高校で唯一の 地域ESD活動推進拠点として

八戸工業大学第二高等学校は普通科の学校で、一貫・進学・総合・美術の4コース編成をとっています。生徒個々の個性・進路を尊重する校風で、県内有数の進学校としての評価を受けています。附属中学校は、サイエンス・テクノロジー教育、グローバル教育、ヒューマン教育(3つの学び)という特色ある教育を行っております。2024年度からは高等学校通信制課程を開設予定です。本校は現在「ユネスコスクール・キャンディデート校」「地域ESD活動推進拠点」の認定を受け、ESDを通じて地域貢献及び国際貢献に努めています。

■組織・団体が行き組む課題(テーマ)[SDGs]



写真について

- 上: 二高子ども食堂〜にここにご食堂〜
- 下左: 種差海岸でのマイクロプラスチック採取
- 下中: 「気候変動のミステリー」でのグループワーク(東北地方環境事務所環境対策課主催)
- 下右: 味噌玉研究 2023年度日本菌学会第67回大会(熊本) 中高生発表部門優秀賞

〒031-8505 青森県八戸市大字妙字大開67番地
 電話 0178-25-4311
 FAX 0178-25-0568
 E-mail niko67@hi-net.ne.jp
 URL <https://www.kodai2-h.ed.jp/>



活動紹介

SDGsの環境・社会・経済 3分野の統合的な 学びを進めています



燕島ウミネコ繁殖調査



東北地方ESD活動支援センターによる「SDGs講演会」

プロジェクト概要

本校ではESDを、各教科のほか「総合的な探究(学習)の時間」、愛好会を中心に3分野で進めています(以下は主なもの)。①環境系:「マイクロプラスチック研究」は、三陸復興国立公園の砂浜で採取したマイクロプラスチックのデータ化、吸着物質の分析などを行っています。「燕島ウミネコ調査」は、国天然記念物燕島に繁殖するウミネコの産卵数、孵化した雛数などをデータ化しています。②社会系:「二高子ども食堂〜にここにご食堂〜」は、高校生による子ども食堂やフードパントリー、学童保育園でのボランティアを行っています。③経済系:「味噌玉研究」は、地域の伝統食「味噌玉」から抽出された菌の研究、菌を活用した特産品の開発を企画しています。「持続可能な社会の創り手」の育成のため、地域から世界、地球へと視野を広げる教育を推進しています。

ESD実践のポイント

新学習指導要領は「持続可能な社会の創り手」の育成(ESD)を掲げました。これを受け本校は、カリキュラム・ポリシーにSDGsの達成を盛り込みました。SDGsには環境・社会・経済の3側面があります。本校ではこれを地域の実情にあわせて再構成し、次の3領域でESDを推進しています。①海・山など豊かな自然資源を有する地域性を活かし、地域の環境問題の考究や自然資源の保全活動を通して、地球規模の諸課題の解決策を提言できる力を養う。②中核市としての地域性を活かし、福祉・医療・教育・経済などをめぐる地域の諸課題の解決に努め、国内だけでなく世界にその成果を発信し貢献する力を養う。③豊富な文化遺産を有する地域性を活かし、地域の文化の考察を通して自国理解を深めるとともに、これを異文化理解・国際理解へとつなげる力を養う。

担当者からのメッセージ

本校は2020年度からESDを本格化させました。背景には、コロナ禍がありました。「多様な人々と協働しながら 様々な社会的変化を乗り越え」る力(新学習指導要領総則)を生徒にもってほしい、この一念でした。また、2019年12月に国連総会で採択された「ESD for 2030」が本校の活動を後押ししました。「地域ESD活動推進拠点」登録後、東北地方ESD活動支援センター様ほか多くの方々から支えられ、生徒だけでなく、学校、そして我々教員も成長させていただいております。



八戸工業大学第二高等学校・附属中学校
ユネスコスクール認定準備チーム、
地域ESD活動推進拠点

チームリーダー 熊谷 隆次さん
 サブリーダー 坂上 尚子さん